

カーヤこども食堂 活動報告書

開催場所 京都スパイスカレーKAAYA

参加費 こども 無料 / 保護者 300 円

開催日 2024 年 1 月

5 日、7 日、9 日、12 日、19 日、24 日、26 日

★5 日 14:00～17:00 「おやつのはじかん」

おやつ 手作り 抹茶レーズンマフィン、焼き芋、麦茶、カルピス、リンゴジュース。お楽しみイベント「おかしすくい」を実施しました。

参加者 こども 11 名 保護者 1 名

★7 日 16:30～19:00 「王将のお子様弁当無料配布とフード・パントリー」

参加者 こども 13 名 保護者の方 11 名

配布 王将のお子様弁当、カルピスウォーター、J ミルククーポン、防災食セット、卵スープ、カップ麺、歯ブラシ、歯磨き粉、ハンドクリンなど衛生用品ブックサンタ(絵本や児童書の配布)を実施しました。

★9 日 16:30～19:00 「王将のお子様弁当無料配布とフード・パントリー」

参加者 こども 14 名 保護者の方 10 名

配布 王将のお子様弁当、カルピスウォーター、J ミルククーポン、お米、防災食セット、卵スープ、カップ麺、歯ブラシ、歯磨き粉、ハンドクリンなど衛生用品。ブックサンタ(絵本や児童書の配布)を実施しました。

★12日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作り チョコクッキー、きな粉クッキー、ミレービスケット、駄菓子、麦茶、カルピス、リンゴジュース

参加者 こども 32名 保護者 1名

★19日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作り チョコクッキー、きな粉クッキー、カレー味おにぎり、どら焼き、マドレーヌ、駄菓子、麦茶、カルピス、リンゴジュース

参加者 こども 29名 保護者 1名

★24日 11:30～19:30 「カレーの日」 (予約制)

食事 チキンカレー、白菜とツナのスープ、麦茶

参加者 こども 10名 保護者 6名

配布 お米、乾物、塩昆布、衛生用品など

★26日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作り チョコクッキー、きな粉クッキー、カレー味おにぎり、パウンドケーキ、駄菓子、麦茶、カルピス、リンゴジュース

参加者 こども 26名 保護者 0名

◆ご支援 お米2合、お米5kg、メイプルシロップ1本、どら焼き5個、お菓子1袋、焼き菓子12個、お茶漬け海苔1袋、昆布詰合せ1箱、パウンドケー

キ 25 個、ケーキの型 1 個、絵本と児童書 5 冊、参加費 2,700 円、募金箱 330 円、寄付金 1,000 円

今月は、延べ人数こども 135 名と保護者 30 名で合計 165 名の参加がありました。

今月も、個人のサポーターや参加者から物資寄贈や寄付金のご支援、運営のお手伝いで学生ボランティアさんにお世話になりました。「おやつのじかん」に来るこどもが保護者の方から託された支援の食品や絵本などを寄贈していただくことが増えました。このように様々な方々との繋がりが私たちの活動継続の力になっています。いつも、ありがとうございます。私たちは、子どもたちの居場所支援として、安心できる居場所に安心できる大人が、自分の近くにいることを、ひとりでも多くの子どもたちに感じてもらえるようにとの想いで活動しています。

この冬休みも、王将フードサービス様が全国の子ども食堂や児童施設向けに無料でお子様弁当を配布する取り組みを行っています。カーヤこども食堂でも、王将桃山店の皆様のご尽力のもと、日頃こども食堂に参加している世帯向けに 7 日と 9 日の両日お弁当配布を行いました。たくさんのおいしいお弁当をいただいて、本当にありがたいです。

今月はサポーターの方にいただいた寄付金を活用して、こども食堂に新た

に本棚を作製し設置しました。数冊からスタートしたブックシェアリングが今では168冊にまで増え、これまではスペースの都合で、本をローテーションで出していましたが、これからは一度に見てもらえるようになりました。本棚があると子どもたちも本を手に取りやすいようで、棚を設置する前より本を読んでいる姿をよく見るようになりました。ひとりでも多くの子どもに本に興味をもってもらえるといいなと思います。

日本全国で子ども食堂の数が増え続けています。2022年に7363箇所、2023年は9131箇所(速報値)とこの一年で大幅に増加しました。(※子ども食堂数は特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえさん調べです) 私たちのカーヤこども食堂で2022年と2023年を比較すると企業や団体からの物資の支援の抽選に外れることが多くなりました。これは初めて申し込みをする団体を優先する傾向もあり2022年に当選した支援先の多くで2023年は抽選に外れました。補助金や助成金についても同様に、子ども食堂の数が植えることにより倍率が上がり、一度受けた助成や補助は対象外となる場合もあります。今後のカーヤこども食堂の運営に必要な資金を補助金や助成金に頼らずに自分たちで資金調達できるようにしていかなければ、今まで通りの活動を継続できなくなると考え、店頭で募金箱を設置しました。子どもたちから「募金って何？」と質問されることもあります。カーヤこども食堂で、いろんなことを知ってもらえることが嬉しいです。

京都府の共同募金会の活動で、伏見区にある福祉作業所の「ふれあい工房」製の焼き菓子を毎月1回、1年間継続して提供してもらえることになりました。共同募金会や募金活動、福祉作業所についてなど、子どもたちに伝えていきたいなと思っています。

カーヤこども食堂運営委員会

木村